

箕面市の観光についてのアンケート調査

概 要

目 的：箕面市の観光資源や観光行動について、箕面市観光のユーザーと想定される周辺自治体住民の意識や行動を探る。

対 象：箕面市周辺自治体住民 計 1,000 名
 周辺大都市：大阪市・神戸市・京都市／近接都市：豊中市・吹田市の 5 都市
 各 200 名
 男・女 × 年齢別 5 分類（20 代以下・30 代・40 代・50 代・60 代以上）
 各 100 名

実施時期：2022（令和 4）年 8 月 25 日（木）～31 日（水）

調査手法：WEB アンケート調査
 （民間調査会社の登録モニターを対象とした調査）

- 内 容：**
1. 箕面市の都市イメージ
 2. 観光・レジャー等で箕面市を訪れた経験、その目的、時期
 3. 箕面市を選んだ理由、交通手段、満足度、情報源、消費額等
 4. 箕面市の各地域の認知度、訪問意向
 5. 箕面市の特産品の認知度
 6. 箕面観光に必要な取組み、やってみたい体験
 7. 休日観光の行き先（自由記述）
 8. 観光地、行楽地としての箕面市についての印象（自由記述）

《参 考》調査対象の内訳

	大阪市	神戸市	京都市	豊中市	吹田市	合 計
男性 20 代以下	20	20	20	20	20	100
男性 30 代	20	20	20	20	20	100
男性 40 代	20	20	20	20	20	100
男性 50 代	20	20	20	20	20	100
男性 60 代以上	20	20	20	20	20	100
女性 20 代以下	20	20	20	20	20	100
女性 30 代	20	20	20	20	20	100
女性 40 代	20	20	20	20	20	100
女性 50 代	20	20	20	20	20	100
女性 60 代以上	20	20	20	20	20	100
合 計	200	200	200	200	200	1,000

調査結果

1. 箕面市の都市イメージ

問 1 あなたは箕面市についてどんなイメージを持っていますか。次のうち 2 つ選んでください。

「自然が豊か」「良質な住宅地」など総じて良いイメージ

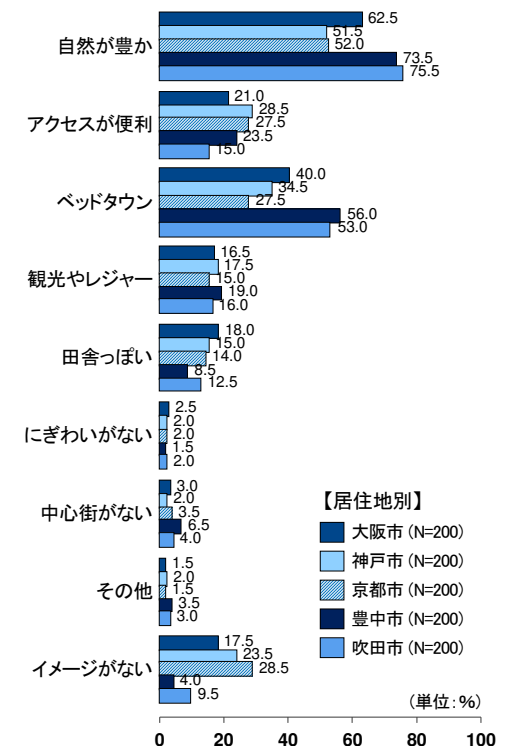
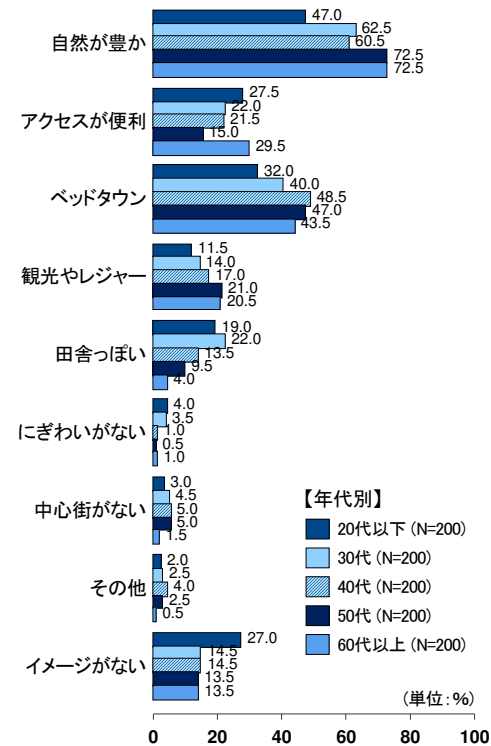
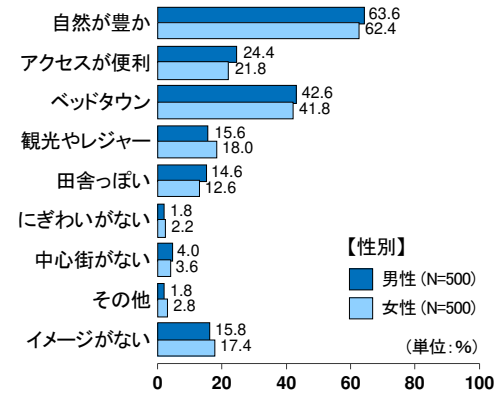
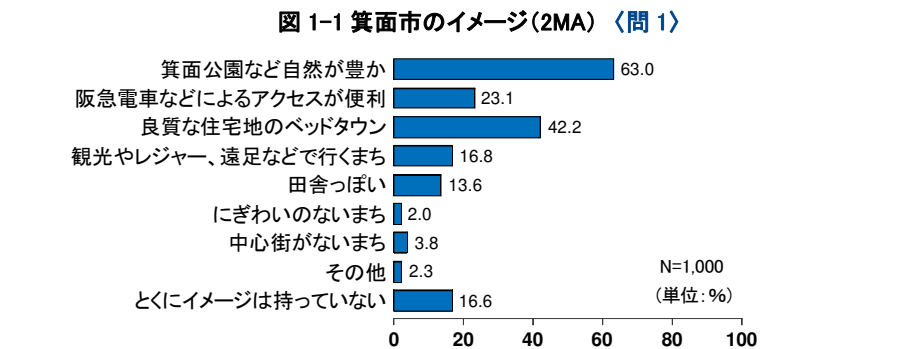
【全体】 「自然が豊か」(63.0%)、「良質な住宅地」(42.2%)の順で、総じて良いイメージを持たれており、「田舎っぽい」(13.6%)などマイナスイメージを持つ人は少ない。「特にイメージはない」という人は全体の約 17%。

【性別】 男女とも大きな差はない。「観光やレジャーで行くまち」というイメージはやや女性に多い。

【年代別】 各年代とも「全体」と同様、「自然が豊か」「良質な住宅地」の順に多く、「観光やレジャーで行くまち」のイメージは年代が上がるにつれて多くなり、下がるにつれて少なくなる。「自然が豊か」も同様の傾向である。20代以下の箕面市イメージは分散しており、「特にイメージはない」人も3割近くいる。20代以下や30代では、「観光やレジャーで行くまち」より「田舎っぽい」イメージのほうが強い。

【性年代別】 男性 50代や女性 60代以上で「自然が豊か」というイメージが強い。また、特に男性 60代以上や女性 50代・60代以上においては「観光やレジャーで行くまち」のイメージが強くなる。

【居住地別】 周辺の3大都市も全体の順位と同様であるが、神戸市・京都市ではイメージが平準化する。「特にイメージはない」人も京都・神戸に多い。近接の豊中市・吹田市では「自然が豊か」や「良質な住宅地」のイメージが強くなり、「田舎っぽい」イメージは弱くなる。



2. 観光・レジャー等で箕面市を訪れた経験、その目的、時期

問2 あなたは今までに箕面市に行った経験は何回くらいありますか。次のうち1つだけ選んでください。

「数えきれない」と「5回以上」のリピーターが全体の約44%

【全体】 「数えきれない」が最も多く（25.7%）、次いで「行ったことはない」（23.4%）、以下「5回以上」（18.2%）、「1回」（13.2%）の順である。

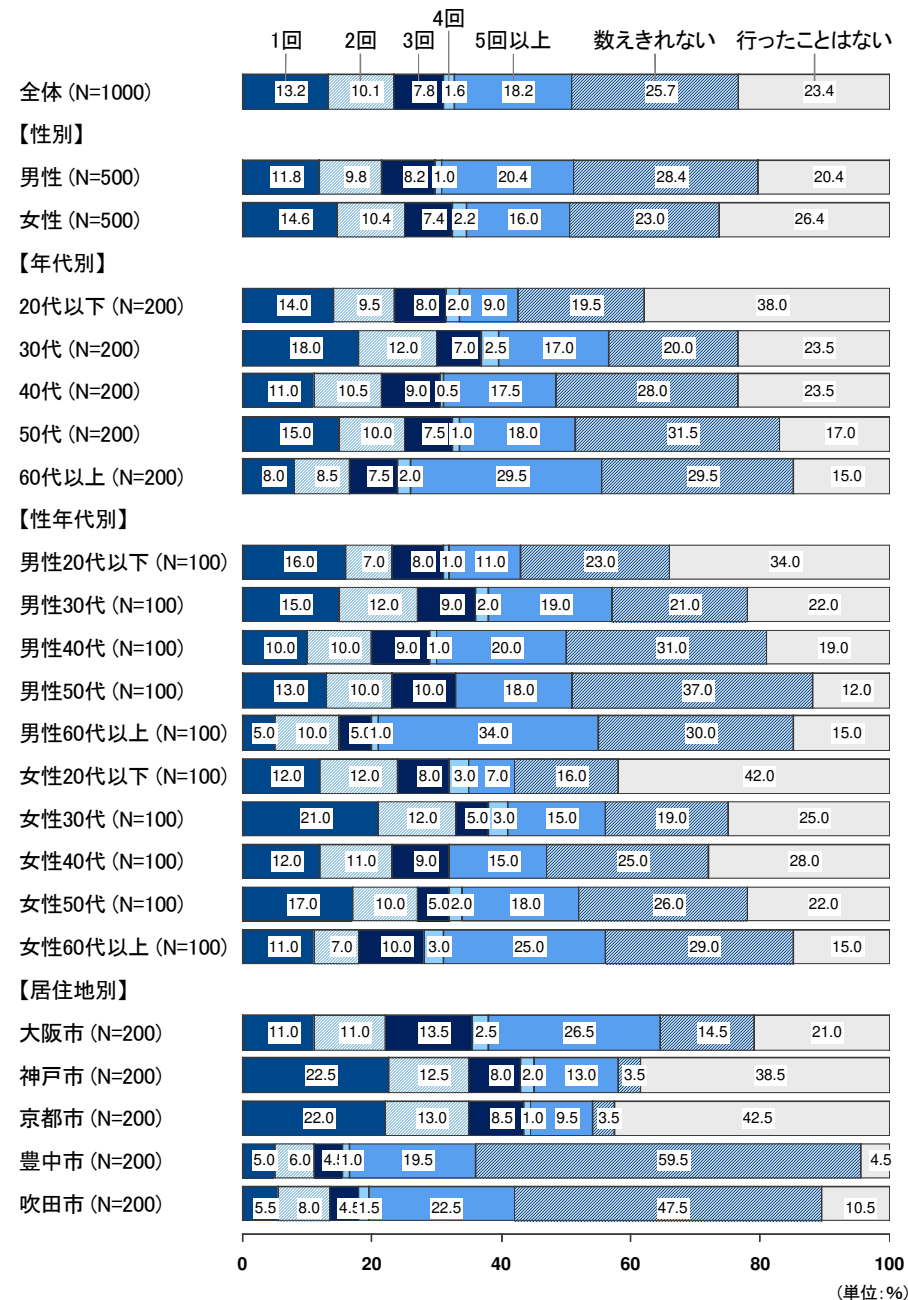
【性別】 男性のほうが「数えきれない」や「5回以上」が女性より多い。逆に「行ったことはない」は女性のほうがやや多い。

【年代別】 「数えきれない」や「5回以上」は年代が上がるにつれて多くなり、下がるにつれて少なくなる。逆に「行ったことはない」は年代が下がるにつれて多くなる（20代以下34.0%）。

【性年代別】 「数えきれない」は男性50代・40代・60代以上で多く、「5回以上」も男性60代以上が多い。女性20代以下は「行ったことはない」人が最も多い（42.0%）。

【居住地別】 周辺大都市の中では、大阪市が「数えきれない」が14.5%で最も多く、神戸・京都はそれぞれ3.5%にすぎない。逆に「行ったことはない」は京都市42.5%、神戸市38.5%で、大阪市の21%よりかなり多い。一方、近接都市では「数えきれない」や「5回以上」が圧倒的に多く、豊中市の約6割、吹田市の約5割の人が「数えきれない」と答えている。

図2-1 箕面市への訪問経験〈問2〉

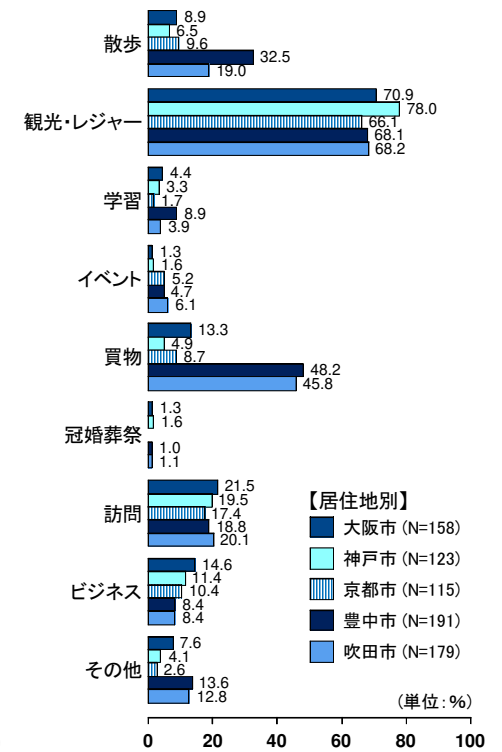
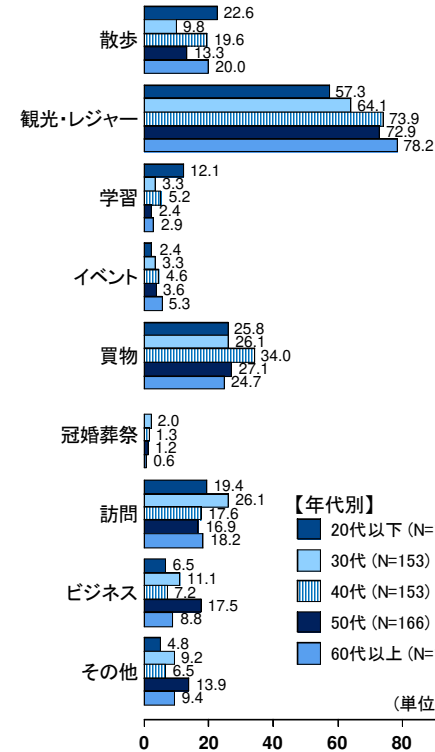
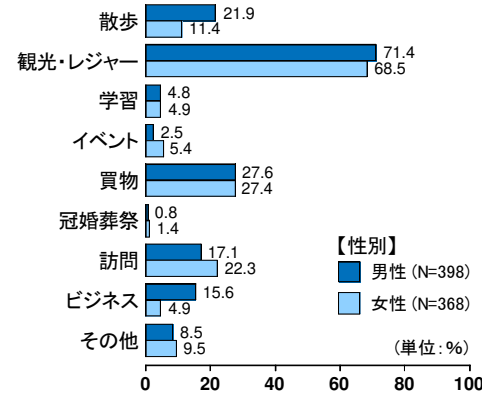
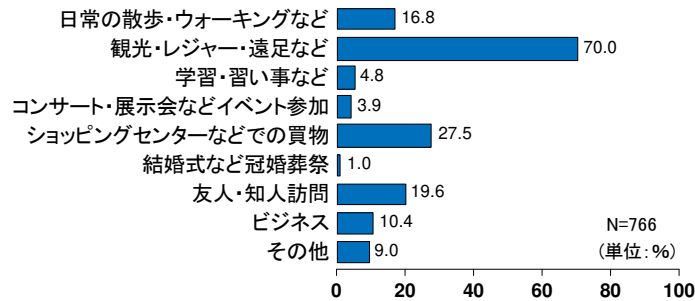


問3 問2で(1)～(6)と答えた方におたずねします。箕面市に行った主な目的は何ですか。次のうちいくつかでも選んでください。

目的は「観光・レジャー」7割、「買い物」3割弱

- 【全体】** 「観光・レジャー」が最も多く(70.0%)、次いで「買物」(27.5%)、「友人・知人訪問」(19.6%)、「日常の散歩」(16.8%)となっている。
- 【性別】** 男女いずれも1位、2位は「観光・レジャー」、「買物」であるが、男性の3位は「日常の散歩」、女性は「友人・知人訪問」である。男性では「ビジネス」が一定ある(15.6%)。
- 【年代別】** 全年代いずれも1位、2位は「観光・レジャー」、「買物」。3位がそれぞれ少し異なり、20代以下・40代・60代以上は「日常の散歩」、30代は「友人・知人訪問」(2位と同率)、50代は「ビジネス」(27.3%)となっている。
- 【性年代別】** すべての性年代で「観光・レジャー」が1位であるが、2位は少しずつ異なり、男性20代以下・男性60代以上が「日常の散歩」、男性50代「ビジネス」、女性30代「友人・知人訪問」、他の6つの性年代ではいずれも「買物」となっている。
- 【居住地別】** いずれの都市も「観光・レジャー」が1位。2位は3大都市では「友人・知人訪問」、近接2都市では「買物」。3位は3大都市ではいずれも「ビジネス」、豊中は「日常の散歩」、吹田は「友人・知人訪問」となっている。

図2-2 訪問目的(MA、問2副問)〈問3〉

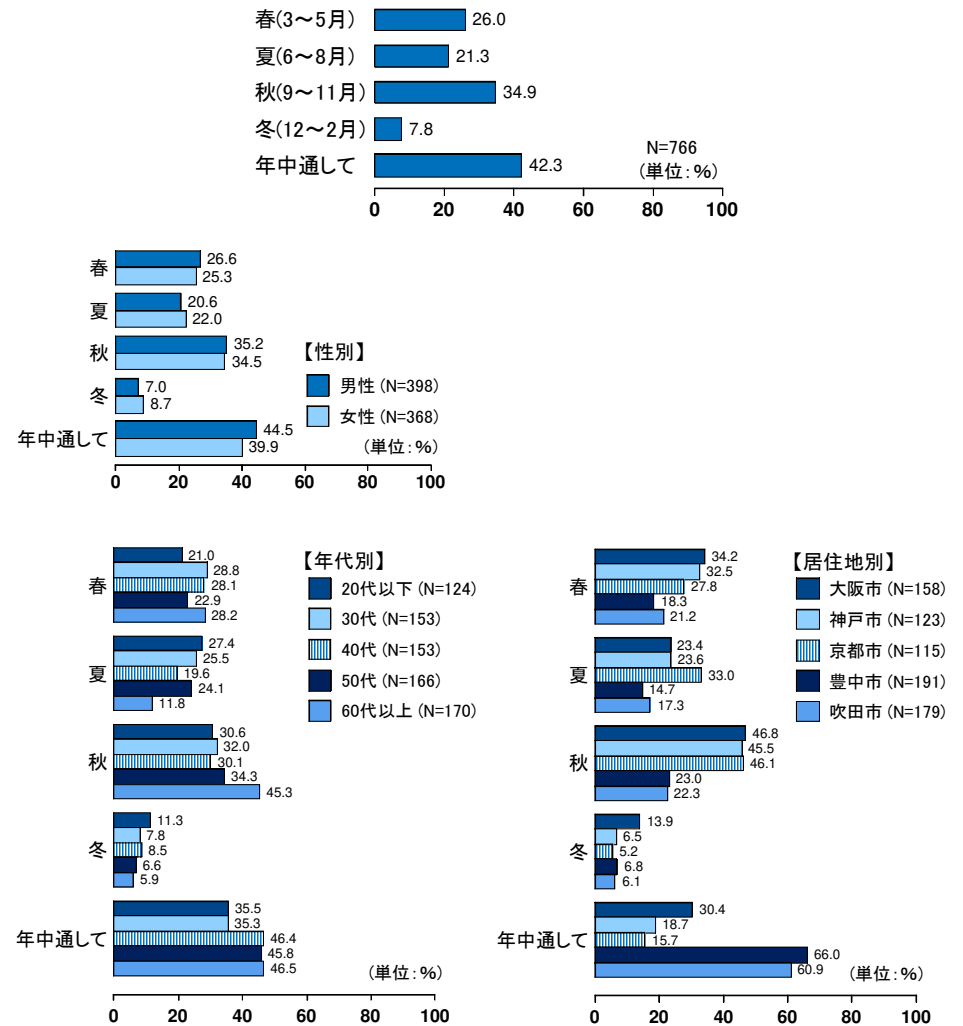


問4 問2で(1)～(6)と答えた方におたずねします。また、その時期はいつですか。次のうちいくつかでも選んでください。

時期は「年中通して」が最多、次いで「秋」

- [全体]** 「年中通して」が最も多い(42.3%)。次いで「秋」(34.9%)、「春」(26.0%)、「夏」(21.3%)の順である。
- [性別]** 男女別でも全体と同様の傾向であるが、男性の「年中通して」のほうが女性よりやや多い。
- [年代別]** 全年代とも1・2位は「年中通して」「秋」で変わらないが、3位では、20代以下と50代では「夏」、30代・40代・60代以上は「春」となっている。
- [性年代別]** ほとんどの性年代で「年中通して」が1位であるが、男性30代・男性60代以上・女性20代以下では「秋」が1位である(男性60代以上は「年中通して」と同率)。
- [居住地別]** 3大都市では「秋」が1位、近接2都市では「年中通して」が他を大きく引き離して1位である。大阪・神戸は「春」、京都は「夏」が2位に入っている。

図2-3 訪問時期(MA、問2副問)〈問4〉



3. 箕面市を選んだ理由、交通手段、満足度、情報源、消費額等

(Q2の訪問目的で「観光・レジャー・遠足など」を選んだ人に対する設問)

問5 問3で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。箕面市を先行先として選んだ理由を次のうちいくつかでも選んでください。

選択理由は「距離や時間」「魅力的な場所」

【全体】 「距離や時間」(49.4%)が1位、「魅力的な場所がある」(46.1%)が2位で拮抗している。以下少し離れて「以前行って良かった」(26.9%)、「家族・友人に勧められて」(17.7%)、「学校等の行事」(10.1%)の順となっている。

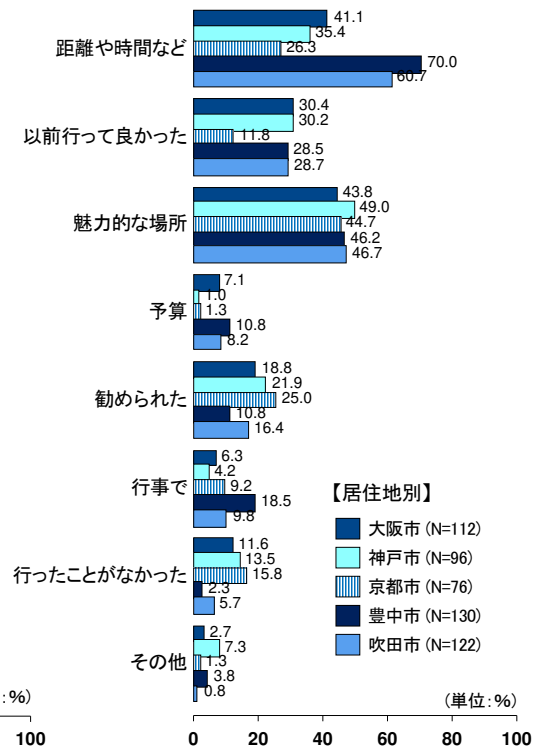
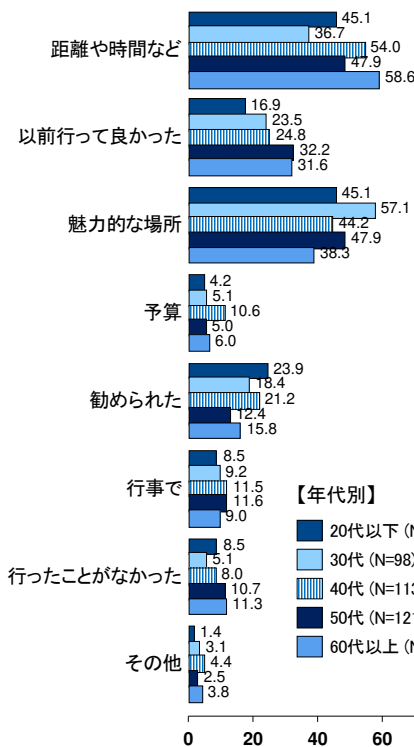
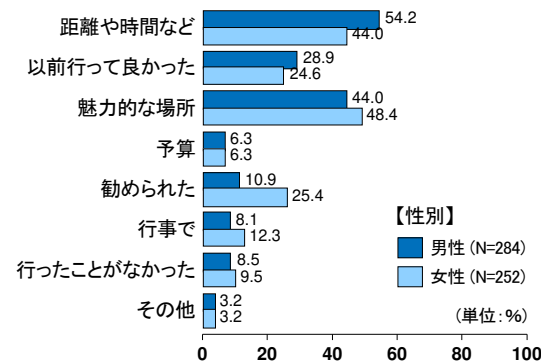
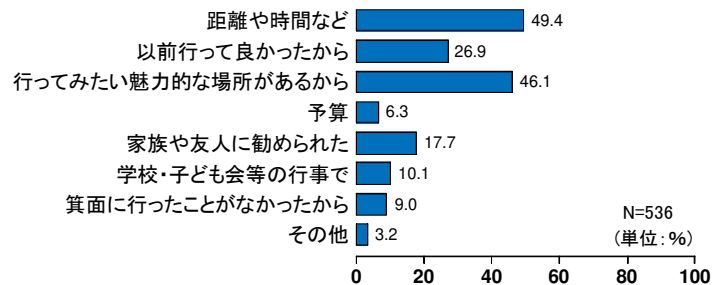
【性別】 微妙な男女差が見られる。男性は全体同様「距離や時間」、「魅力的な場所がある」が1・2位であるが、女性はそれが入れ替わり「魅力的な場所がある」が1位である。3位も男性は「以前行って良かった」、女性は「家族・友人に勧められて」が入っている。

【年代別】 各年代で微妙な差がある。40代・60代以上では「距離や時間」が「魅力的な場所がある」を引き離して1位、30代では「魅力的な場所がある」が「距離や時間」を大きく上回って1位、20代以下・50代では両者は同率の1位である。

【性年代別】 「距離や時間」が1位は男性20代以下・40代・50代・60代以上、女性の40代・50代・60代以上で、「魅力的な場所がある」が1位は男性30代・50代、女性の20代以下から50代までである。このうち女性40代と男女50代は、いずれも両者が同率1位である。

【居住地別】 3大都市では「魅力的な場所がある」が1位、3位の「家族・友人に勧められて」も一定程度多い。近接2都市では「距離や時間」が1位で圧倒的に多い。吹田市は「学校等の行事」も比較的多い。

図3-1 選択理由(MA、問2副問)〈問5〉



問6 同じく問3で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。自宅から箕面市への所要時間と交通手段を、いずれも1つずつ選んでください。交通手段が複数ある場合は、最終交通手段を選んでください。

■所要時間

9割は90分圏内から来訪

【全体】 「31～60分」が最も多く35.8%、次いで「61～90分」29.7%、「30分以内」21.8%、「91分以上」12.7%の順であった。全体の約9割が90分圏内であった。

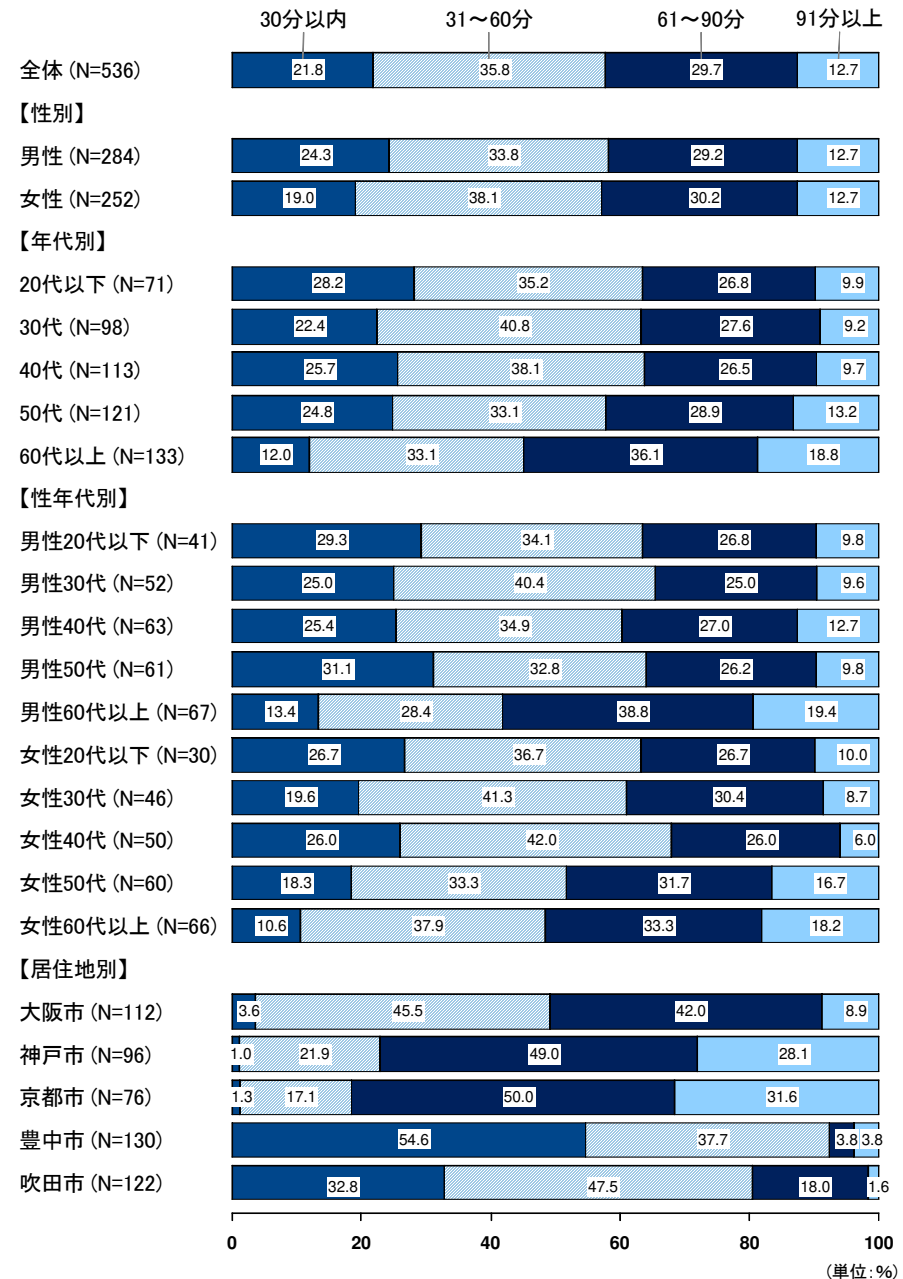
【性別】 男女別でも同様の結果で、「30分以内」の男性が女性よりやや多く、「31～60分」の女性が男性よりやや多かった。

【年代別】 年代別では、60代以上を除いてすべての年代で「31～60分」が1位、60代のみ「61～90分」が1位。

【性年代別】 男性60代以上のみ「61～90分」が1位で、他のすべての性年代で「31～60分」が1位。

【居住地別】 豊中市のみ「30分以内」が最も多く、大阪市・吹田市は「31～60分」、神戸市・京都市は「61～90分」が最も多い。

図3-2 所要時間(Q2 副問) 〈問6〉



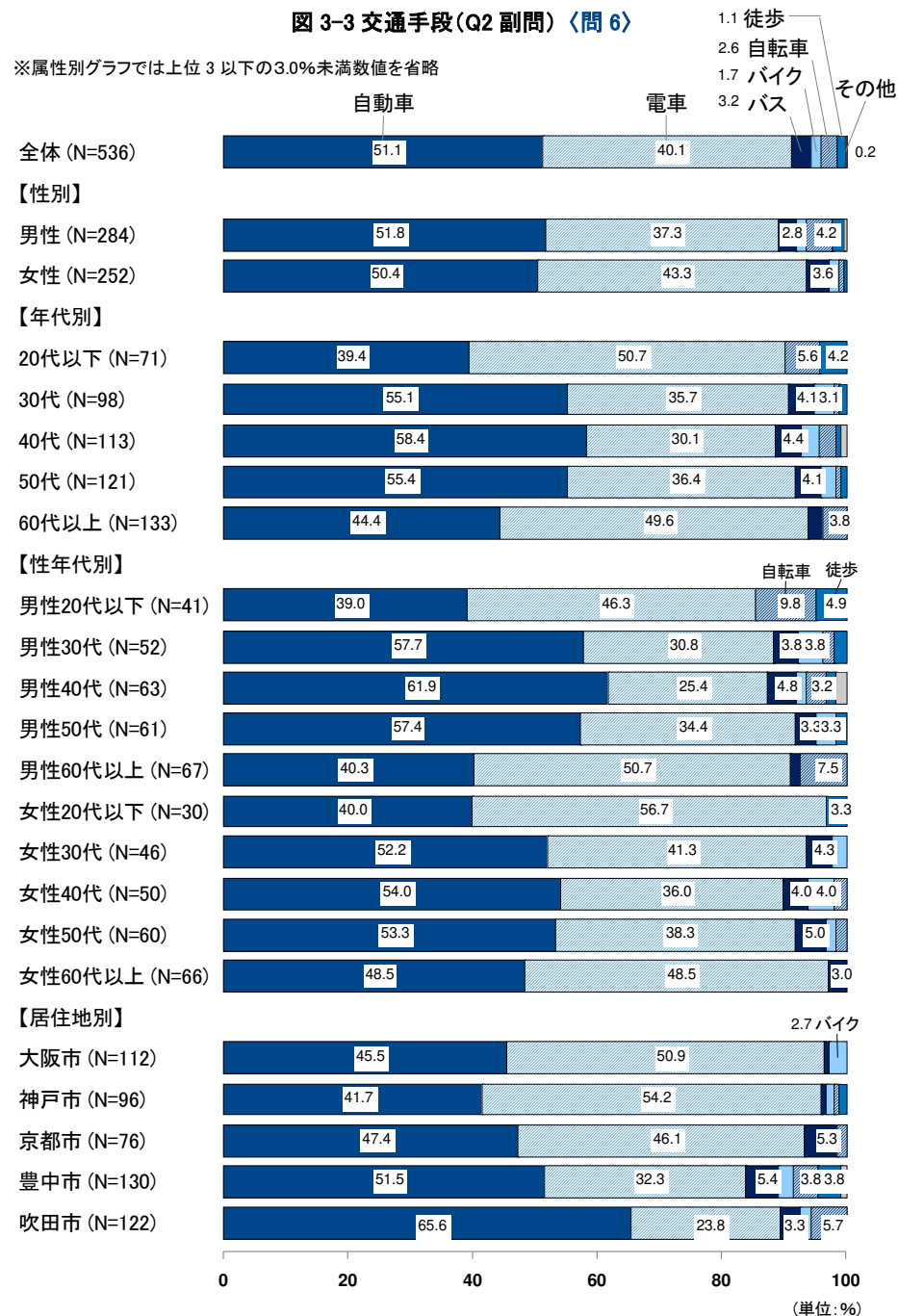
■交通手段

半数が「自動車」、4割が「電車」で来訪

- 【全 体】** 交通手段は「自動車」(51.1%)、「電車」(40.1%) が大半である。以下「バス」(3.2%)、「自転車」(2.6%)、「バイク」(1.7%)、「徒歩」(1.1%) の順であるが、わずかである。
- 【性 別】** 女性の「電車」「バス」は男性よりやや多い。「自転車」は男性のほうがやや多い。
- 【年代別】** 30～50代は「自動車」が1位、20代以下・60代以上は「電車」が1位である。
- 【性年代別】** 男性20代以下・60代以上、女性20代以下・60代以上の4つの性年代は「電車」が1位で、他の6つの性年代はすべて「自動車」が1位であった。
- 【居住地別】** 大阪市・神戸市は「電車」が最も多く、京都市・豊中市・吹田市は「自動車」が最も多い。近接都市でも「電車」より「自動車」のほうが多い。

図 3-3 交通手段(Q2 副問) 〈問 6〉

※属性別グラフでは上位3以下の3.0%未満数値を省略

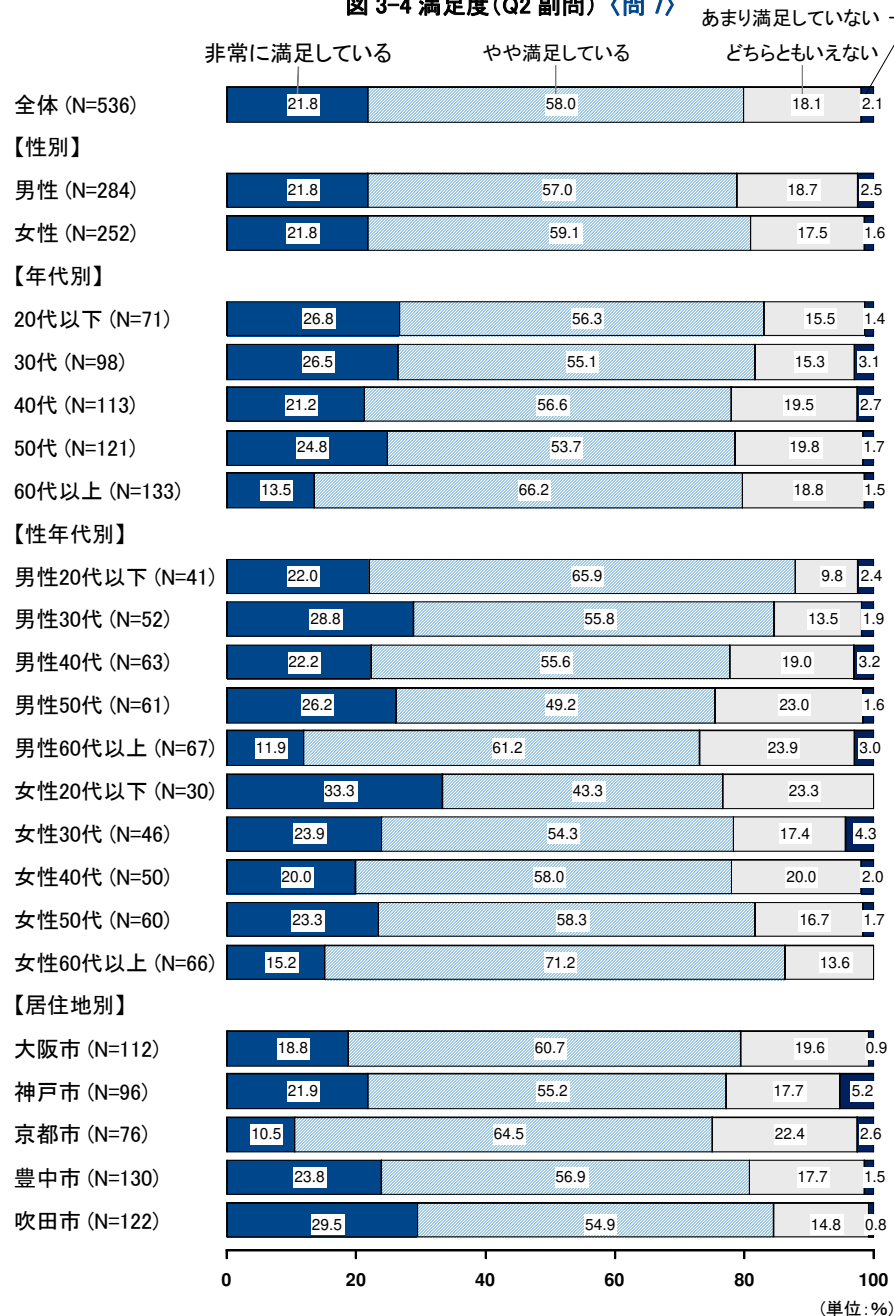


問7 同じく問3で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。箕面市での観光・レジャーについてどのくらい満足していますか。次のうち1つ選んでください。

約8割の人が一定程度「満足」

- 【全体】** 「やや満足」(58.0%)、「非常に満足」(21.8%)、「どちらともいえない」(18.1%)、「あまり満足していない」(2.1%)の順で、約8割が一定程度満足している。「全く満足していない」はゼロであった。
- 【性別】** 全体と同様の傾向であるが、女性のほうがやや満足度が高い。
- 【年代別】** どの年代も「やや満足」が1位で最も多く、60代以上を除いて「非常に満足」が2位である。60代以上のみ「非常に満足」より「どちらともいえない」が多く、40・50代も両者が拮抗している。
- 【性年代別】** どの性年代とも「やや満足」が1位で、男性60代以上と女性40代を除く性年代は「非常に満足」が2位。男性60代以上と女性40代は「どちらともいえない」が2位である(女性40代は「非常に満足」と同率)。
- 【居住地別】** いずれの都市も「やや満足」が最も高く、大阪市・京都市が「どちらともいえない」が2位、神戸市・豊中市・吹田市では「非常に満足」が2位に入っている。「非常に満足」と「やや満足」を足した「満足」の割合では、全ての都市で約8割に近い(京都市75.0%~吹田市84.4%)。

図3-4 満足度(Q2副問)〈問7〉

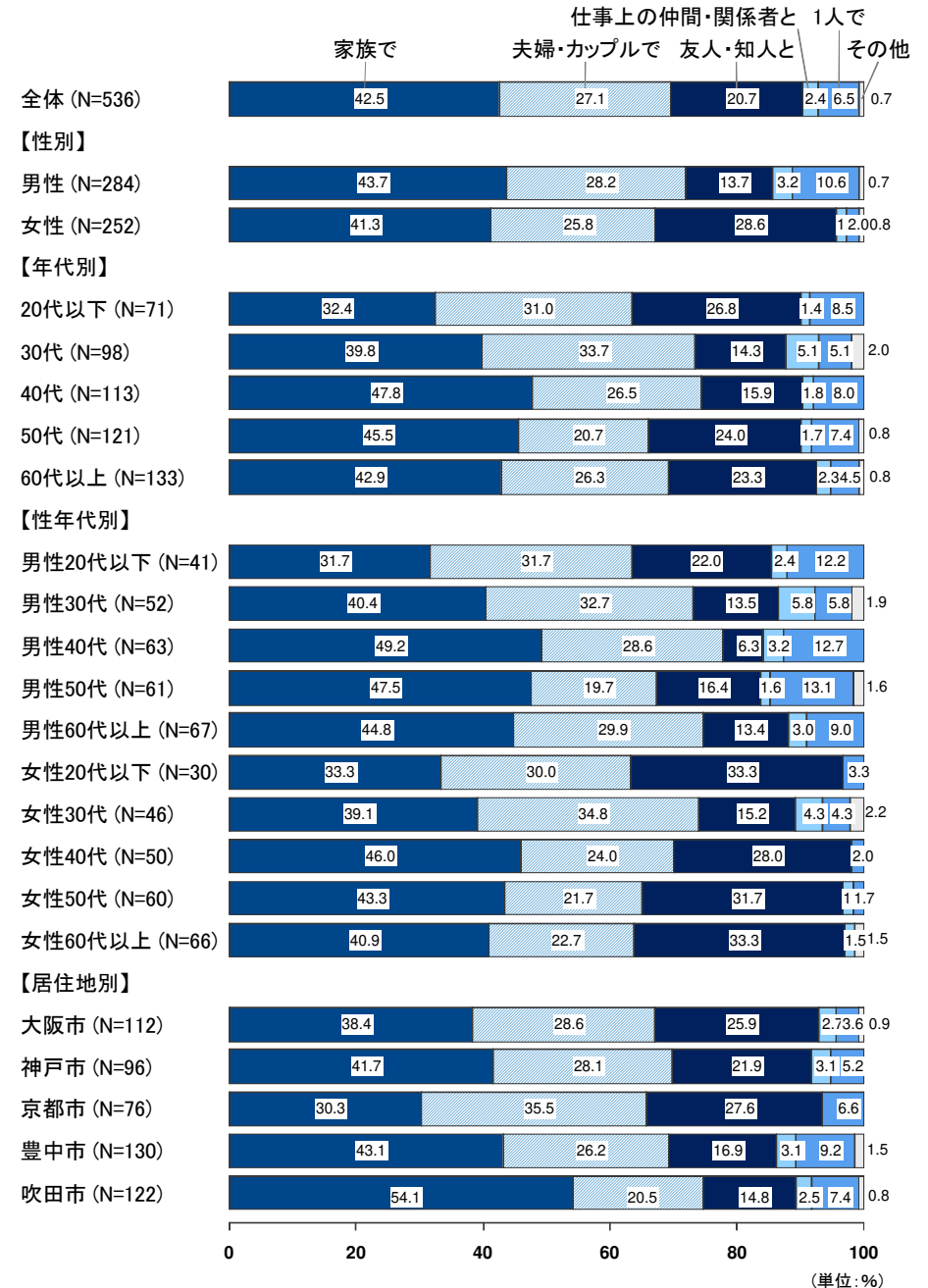


問 8 同じく問 3 で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。その際、どなたと一緒にでしたか。次のうち 1 つ選んでください。

同伴者は「家族」「夫婦・カップル」が約 7 割

- 【全 体】** 「家族」(42.5%) が最も多く、以下「夫婦・カップル」(27.1%)、「友人・知人」(20.7%)、「1 人」(6.5%)、「仕事の仲間」(2.4%) の順であった。
- 【性 別】** 男女ともに 1 位は「家族」であるが、2 位では男性は「夫婦・カップル」、女性は「友人・知人」となっており、男女に微妙な差がある。男性は女性に比べて「友人・知人」が少なく、「1 人」が多いのも特徴である。
- 【年代別】** 各年代とも全体と同様の傾向にあるが、20 代以下は 1 位「家族」2 位「夫婦・カップル」、3 位の「友人・知人」がほぼ同じ割合にあり、50 代では「友人・知人」が 2 位に入っている。
- 【性年代別】** 男女とも 20 代以下や 30 代では「家族」と「夫婦・カップル」が拮抗している。女性は年代が上がるにつれて「夫婦・カップル」より「友人・知人」と行くことが多くなる傾向にある。
- 【居住地別】** 「夫婦・カップル」が 1 位の京都市を除き、他の 4 都市は「家族」が 1 位。吹田市は半数以上が「家族」である。3 大都市は「友人・知人」も一定の割合がある。近接 2 都市は比較的「1 人」が多い。

図 3-5 同行者(Q2 副問)〈問 8〉



問9 同じく問3で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。その際、箕面市内で宿泊をしましたか。次のうち1つ選んでください。

6人に1人が観光・レジャーで宿泊

【全体】 宿泊した人が17.0%、宿泊していない人が83.0%。全体に6人に1人程度が「観光・レジャー」で宿泊している。

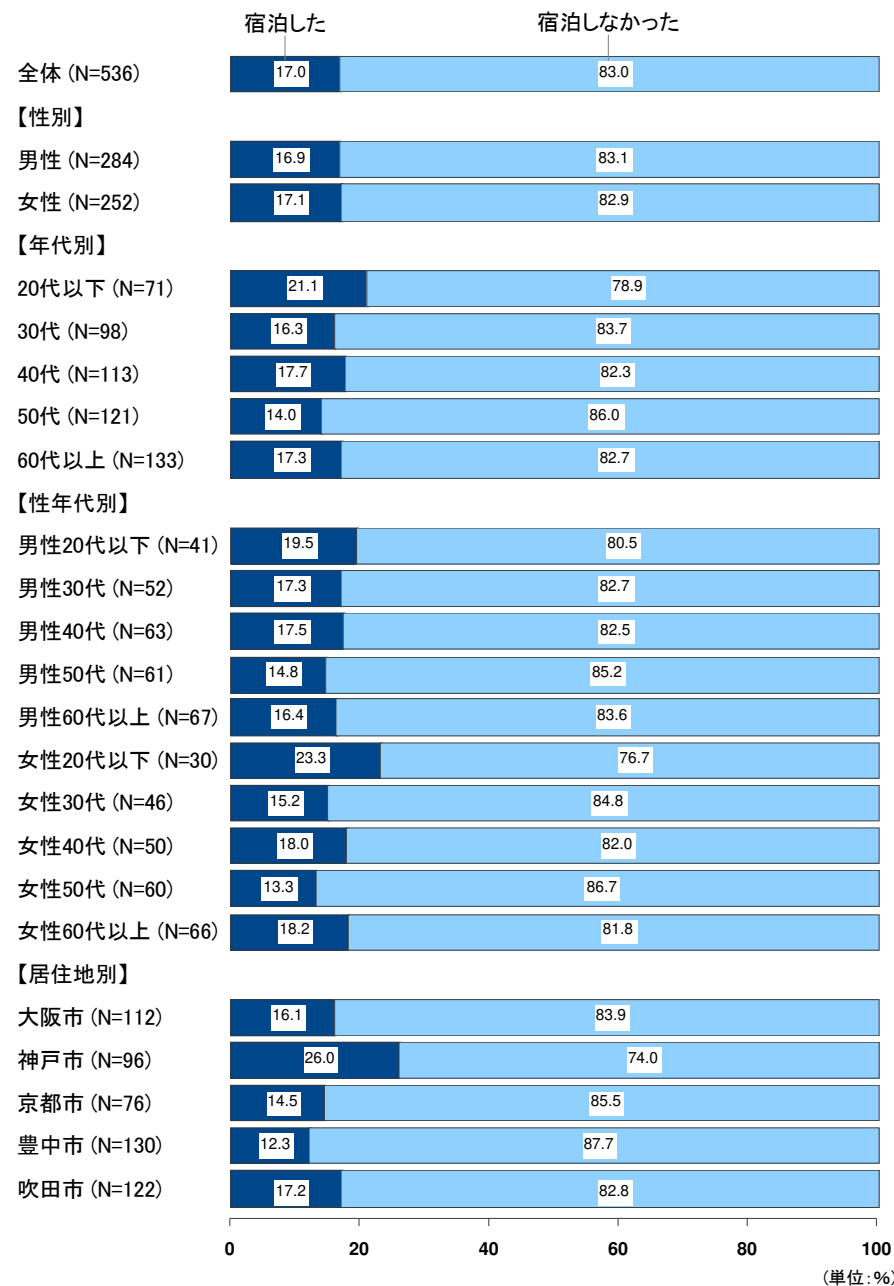
【性別】 宿泊した人は、男女ほぼ同率である。

【年代別】 年代別では20代以下・40代・60代以上の宿泊者が、他の世代に比べて少し多い。

【性年代別】 男女20代以下・女性60代以上に宿泊者がやや多い。

【居住地別】 神戸市の宿泊者が26.0%で、他都市に比べやや多い。

図3-6 宿泊の有無(Q2副問)〈問9〉

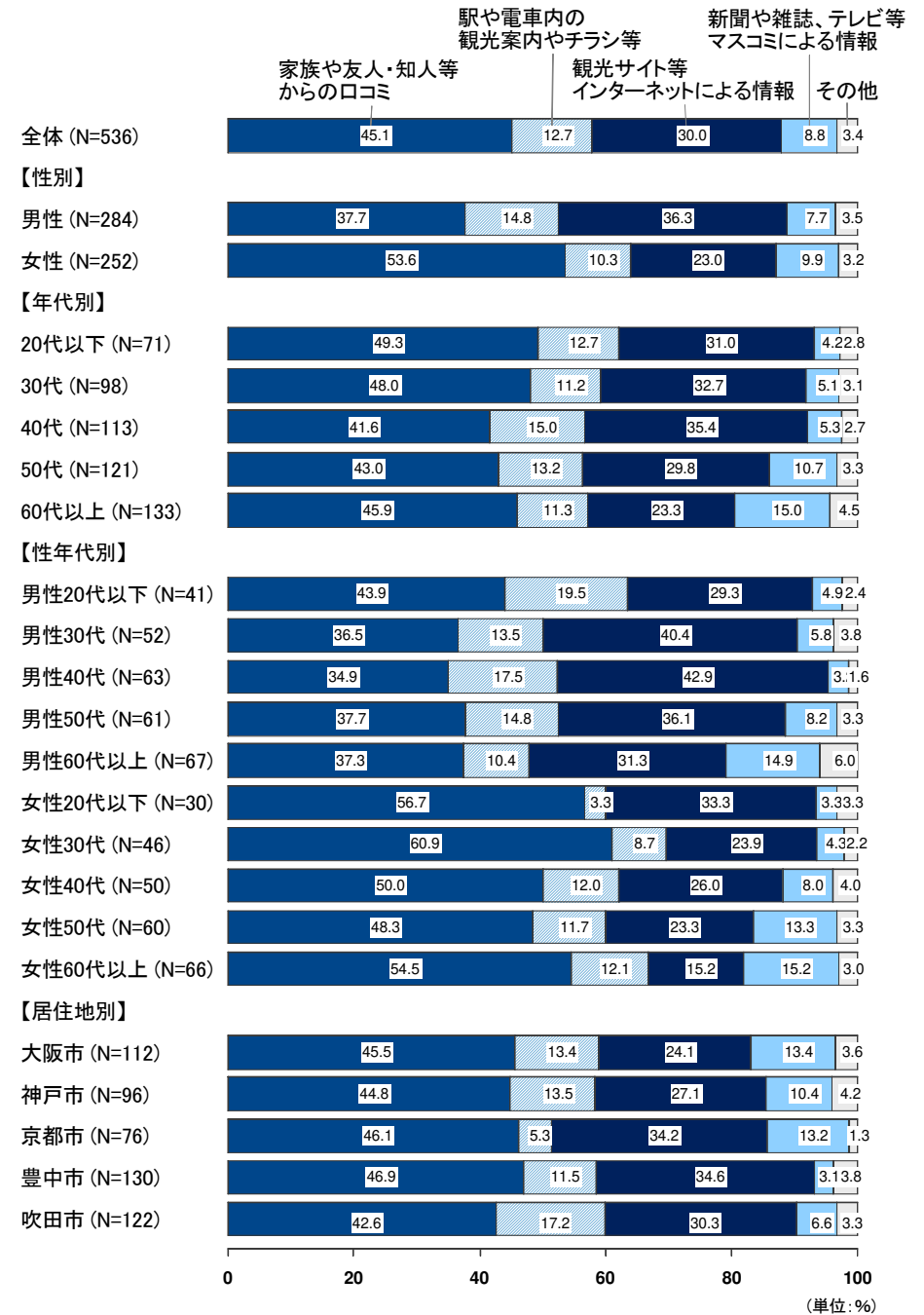


問 10 同じく問3で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。また、その際、箕面市についての情報はどこから入手しましたか。次のうち決め手となった情報の入手先を1つだけ選んでください。

決め手となった情報は「口コミ」45%、「観光サイト」30%

- 【全 体】** 「口コミ」が1位(45.1%)、以下「観光サイト」(30.3%)、「駅等の観光案内」(12.7%)、「マスコミ」(8.8%)の順である。
- 【性 別】** 男性は「口コミ」と「観光サイト」の1・2位が近い割合であるのに対して、女性は1位「口コミ」が男性よりかなり多く(53.6%対37.7%)、「観光サイト」が男性より少ない(23.0%対36.3%)。また、男性は女性より「駅等の観光案内」が多く、「マスコミ」がやや少ない。
- 【年代別】** どの年代も1・2位は同じで、全体と同じ傾向である。ただ年代が上がるにつれて「マスコミ」が増える。
- 【性年代別】** ほとんどの性年代は「口コミ」が1位であるが、男性30・40代では「観光サイト」が1位である。
- 【居住地別】** 1・2位は全体と同様であるが、特に京都市・豊中市・吹田市は「観光サイト」とする割合が高い。「駅等の観光案内」は吹田市、「マスコミ」は京都市・神戸市が比較的高い。

図 3-7 情報源(Q2 副問) <問 10>



問 11 同じく問 3 で「(2) 観光・レジャー・遠足など」を選んだ方におたずねします。箕面市に行ったとき、買い物や飲食、宿泊、イベント、交通などで、あなた 1 人で合計いくらかほどお金を使いましたか。何度もある方は、直近に行ったときの合計金額をお答えください。

全体の 8 割弱が 5,000 円以下の消費額

【全 体】 最も多いのは「1,001～3,000 円」(32.6%) で、次いで「3,001～5,000 円」(29.7%)、以下「5,001～10,000 円」(13.2%)、「501～1,000 円」(9.5%)、「10,001 円以上」(8.4%) の順である。全体の 77% が 5,000 円以下の消費額となっている。

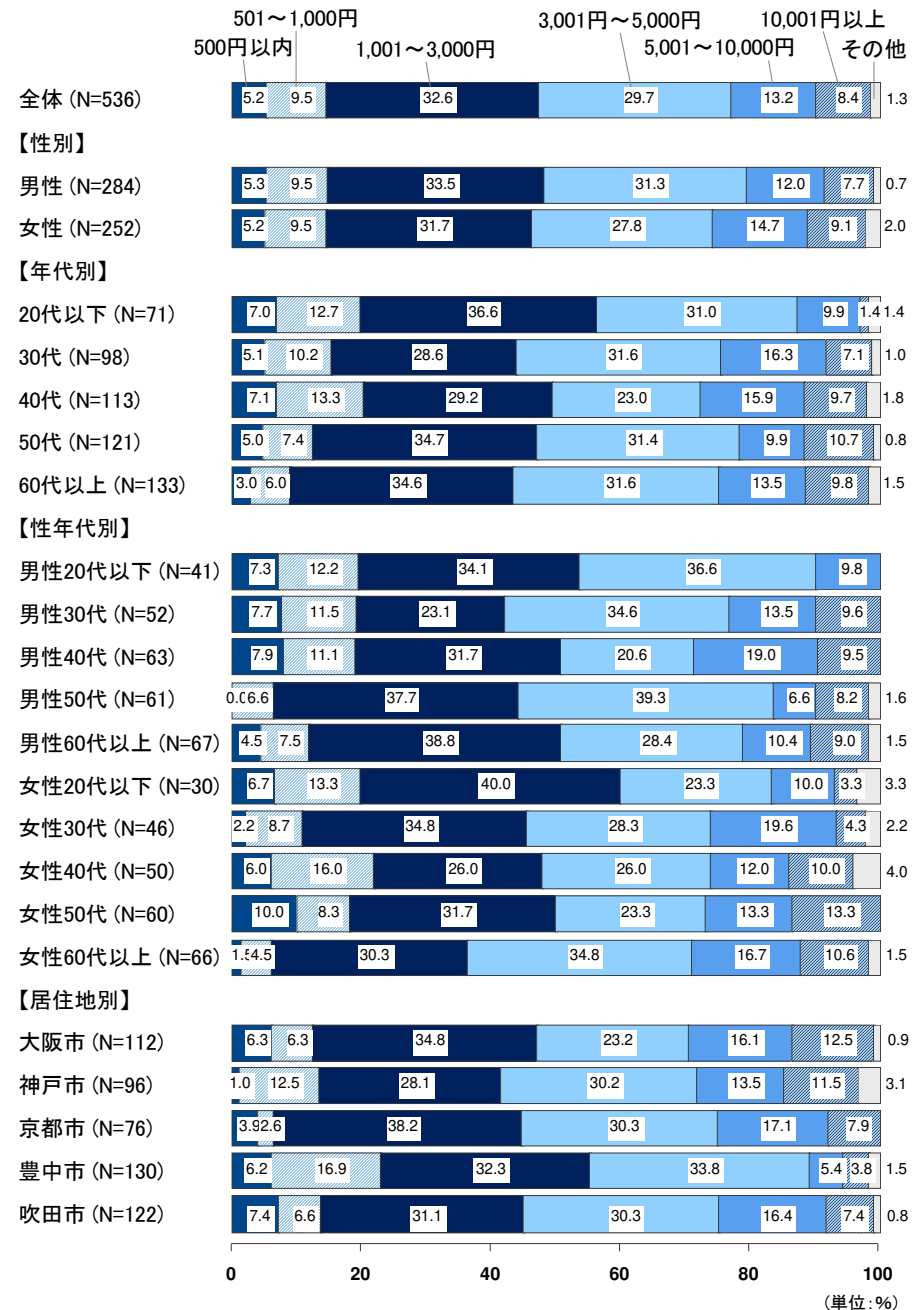
【性 別】 全体とほぼ同じ傾向である。

【年代別】 30 代のみ「3,001～5,000 円」が 1 位で、他の世代は「1,001～3,000 円」が 1 位である。年代が上がるにつれて、消費額が比較的増える傾向にある。

【性年代別】 特に女性は年代が上がるにつれ消費額が増えている。

【居住地別】 3 大都市では比較的消費額は多く、近接 2 都市では比較的少ない傾向にある。

図 3-8 消費額(Q2 副問) <問 11>



4. 箕面市の各地域の認知度、訪問意向

問 12 箕面市の次の観光名所や地域のうち、行ったことがあるところはどこですか。行ったことがあるものがあれば、いくつでも選んでください。

「箕面国定公園」「勝尾寺」「キューズモール」がトップ 3

【全 体】 全体の67.6%がどこかに行った経験があり(766-90=676人)、「どこにも行ったことがない」は11.7%であった。

最も多いのが「箕面国定公園」(59.5%)で、次いで「勝尾寺」(44.3%)、僅差で「キューズモール」(43.1%)、以下順に「箕面船場」(34.5%)、「彩都」(29.8%)、「小野原」(25.8%)、「止々呂美」(12.5%)、「瀧安寺」(9.5%)の順となっている。「萱野三平記念館」(3.3%)、「西江寺」(1.8%)はわずかであった。

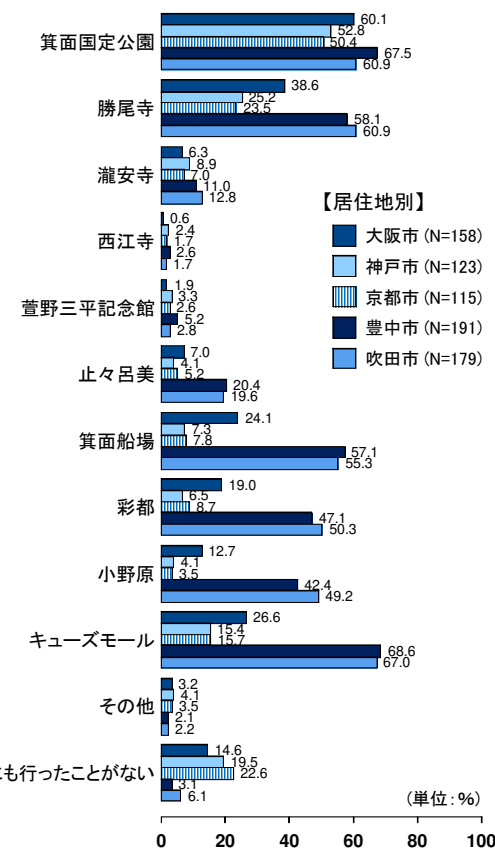
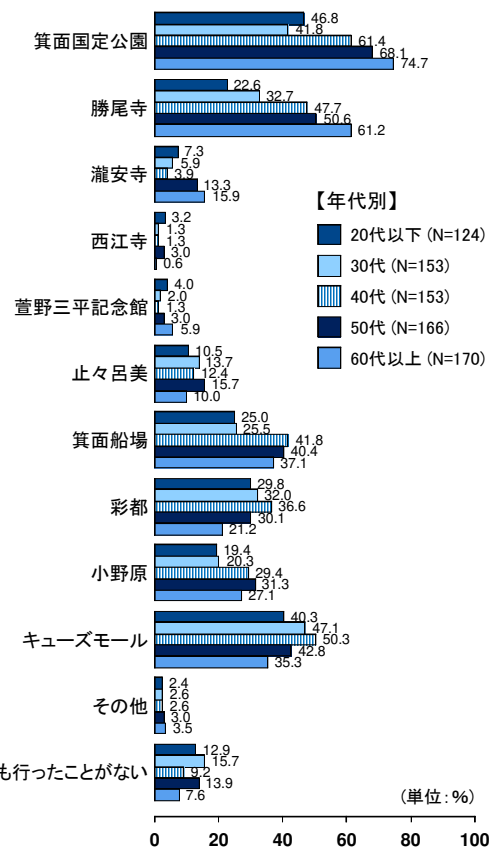
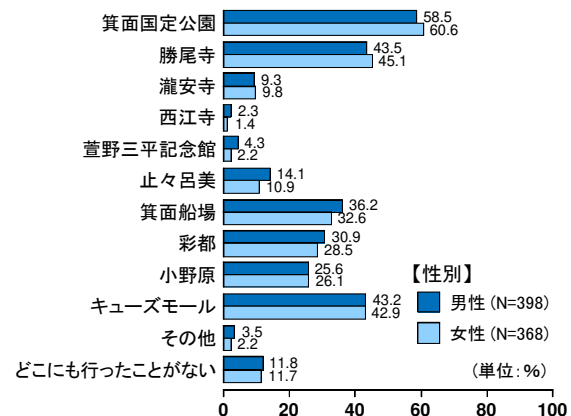
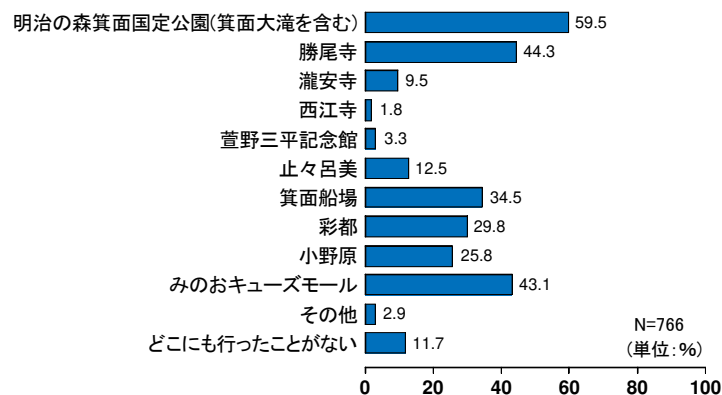
【性 別】 男女とも全体と同じ選択項目の順位であった。女性は男性より「箕面国定公園」や「勝尾寺」などでやや多く、男性は女性より「キューズモール」や「箕面船場」、「彩都」などでやや多かった。

【年代別】 20代以下は「箕面国定公園」が1位ではあるが、2位「キューズモール」、3位「彩都」の順で、また、30代でも1位が「キューズモール」で、2位「箕面国定公園」より多く、若い年代は全体の順位とは少し異なっている。「箕面国定公園」や「勝尾寺」などは年代が上がるにつれていったことのある人が多い。20代以下・30代・50代は、比較的「行ったことがない」人が多い。

【性年代別】 男・女30代は1位が「キューズモール」で、2位が「箕面国定公園」であった。男性20代以下・40代、女性20代以下は2位が「キューズモール」、男性50代以上と女性40代以上は2位が「勝尾寺」であった。

【居住地別】 近接2都市は3大都市に比べ、各名所・地域ともに行った経験のある人が多い。しかし、1位は両都市とも「箕面国定公園」を抑えて「キューズモール」であった。「どこにも行ったことがない」人は京都市が最も多く(22.6%)、次いで神戸市(19.5%)であった。

図 4-1 観光地等への訪問経験(MA) <問 12>



問 13 前問・問 12 の観光名所や地域のうち、行ってみたいところはどこですか。行きたいところがあれば、いくつでも選んでください。

男性「勝尾寺」、女性「キューズモール」も上位に

【全 体】 全体の 71.5%がどこかに「行きたい」と答え、残念ながら「行きたいところはない」は 28.5%であった。

最も多いのが「箕面国定公園」(39.2%)で、次いで「勝尾寺」(25.8%)、僅差で「キューズモール」(25.5%)、以下順に「箕面船場」(14.2%)、「彩都」(13.6%)、「瀧安寺」(12.0%)、「止々呂美」(10.7%)といった結果であった。「箕面国定公園」から「彩都」までの順位は、前問の「行ったことのある」場所と同じであった。

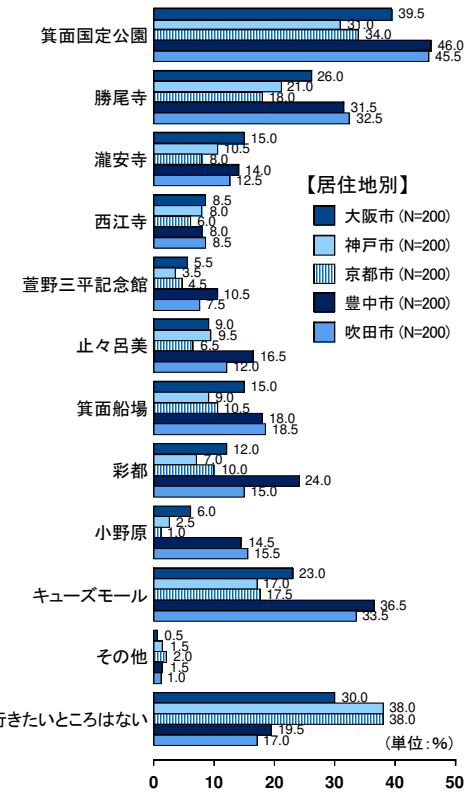
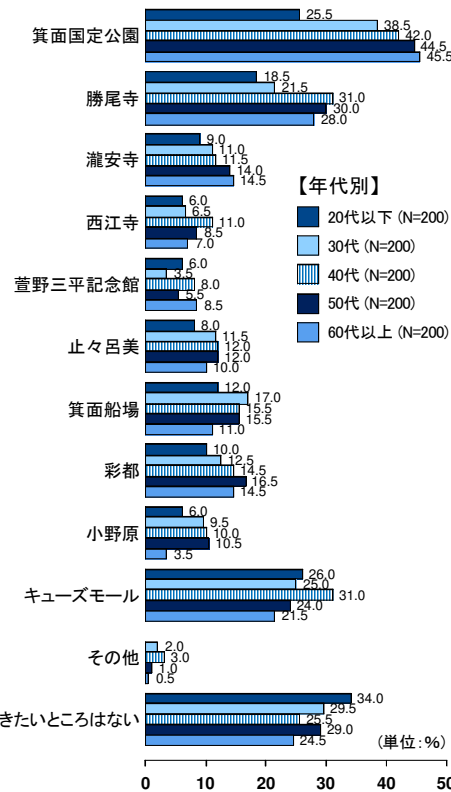
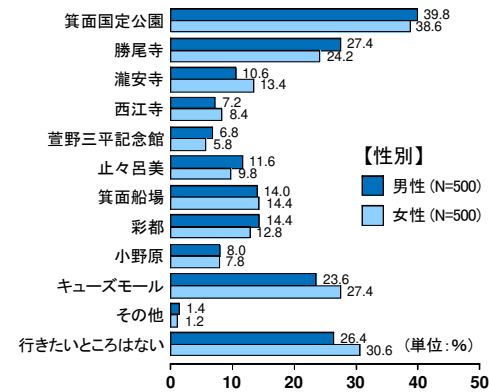
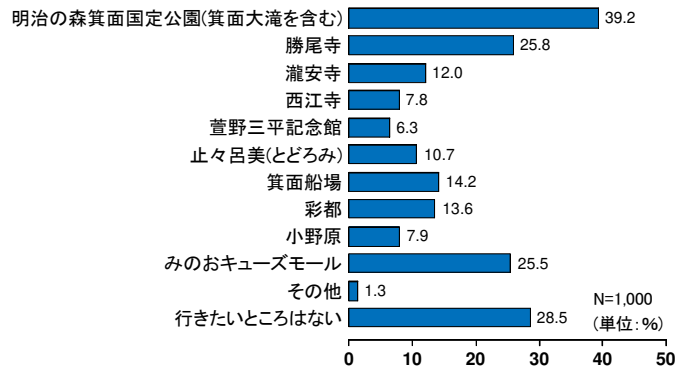
【性 別】 男女ともに 1 位は「箕面国定公園」であるが、2 位以下が微妙に異なっている。2 位は男性「勝尾寺」で、女性は「キューズモール」、3 位はそれらが入れ替わり、4 位は男性「彩都」、女性「箕面船場」、5 位は男性「箕面船場」、女性「瀧安寺」といった状況である。「行きたいところはない」は女性のほうがやや多い。

【年代別】 20 代以下を除き、全年代の 1 位は「箕面国定公園」で、20 代以下は「キューズモール」であった。全年代で 1~3 位は「箕面国定公園」「キューズモール」「勝尾寺」のいずれかである。4・5 位は「箕面船場」か「彩都」に分かれている。また、年代が下がるにつれて「行きたいところはない」が多くなる。

【性年代別】 女性 20 代以下のみ 1 位が「キューズモール」で、他の 9 つの性年代はすべて「箕面国定公園」であった。

【居住地別】 神戸市・京都市は 4 割近く、大阪市は 3 割の人が「行きたいところはない」と答え、全体でも 3 割近い。3 大都市の少なからぬ人が関心を示していないのは大きな課題と言える。

図 4-2 観光地等への訪問意向(MA)〈問 13〉



5. 箕面市の特産品の認知度

問 14 次の箕面市の特産品のうち、知っているものはどれですか。知っているものがあればいくつでも選んでください。

「もみじの天ぷら」「箕面ビール」は高い知名度

【全体】 1位は「もみじの天ぷら」(57.5%)、2位「箕面ビール」(42.3%)、3位「柚子」(14.4%)で、以下「栗」「山椒」「枇杷」の順であった。「山椒」や「枇杷」の認知度は低い。「知っているものはない」も3割近く(27.5%)あった。

【性別】 全体1位の「もみじの天ぷら」は女性のほうがやや高く、2位「箕面ビール」は男性のほうがやや高かった。「知っているものはない」も女性のほうが高い。

【年代別】 「もみじの天ぷら」は年代が上がるほどよく知られている。年代が下がるほど「知っているものはない」が高くなる(17.0%→38.5%)。

【性年代別】 「もみじの天ぷら」は、特に男女とも50代以上の高齢層によく知られ、「箕面ビール」は各性年代にまんべんなく知られている。

【居住地別】 「もみじの天ぷら」は大阪市・神戸市の人約半数が知っているが、京都市は4割弱にとどまる。近接2都市での知名度は一定ある(84.0%・65.5%)。「箕面ビール」の知名度も神戸市・京都市では低い。神戸市・京都市の約4割、大阪市の約3割の人が「知っているものはない」と答えている。

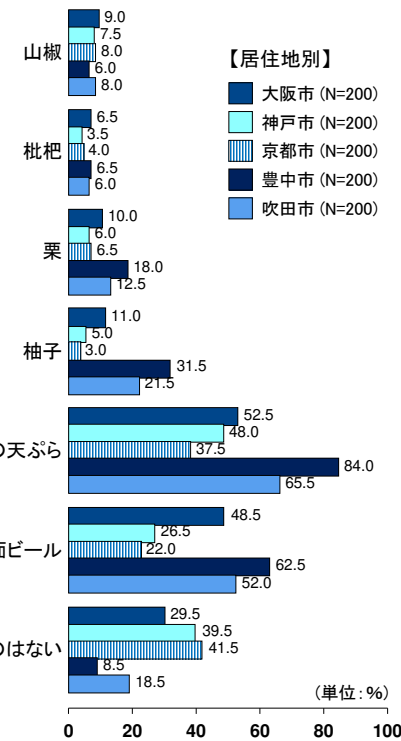
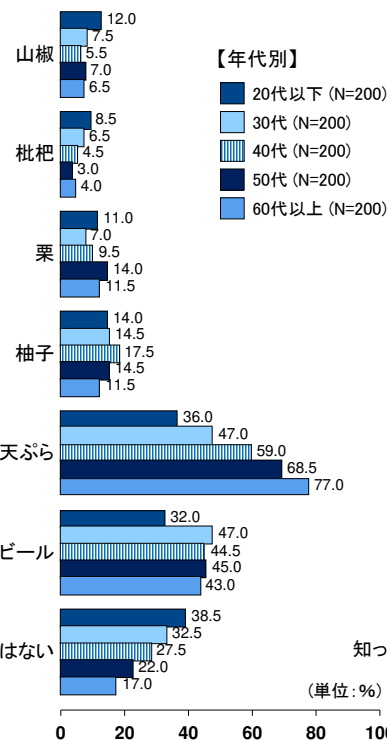
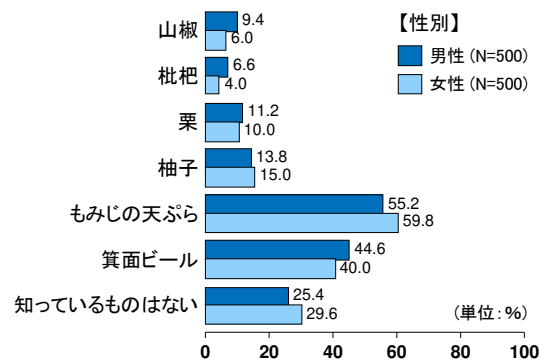
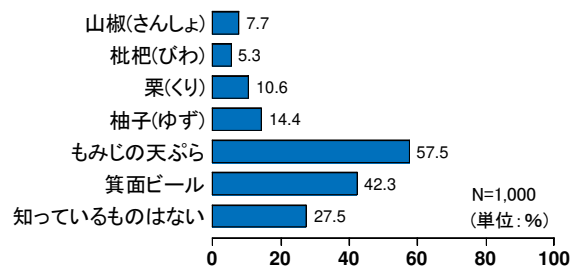


図 5-1 特産品の認知度(MA) 〈問 14〉



6. 箕面観光に必要な取組み、やってみたい体験

問 15 箕面市の観光地として必要な取組みは何だと思えますか。次のうち 3 つまで選んでください。

「観光情報の充実」「魅力ある観光施設の増設」を期待

【全体】 1位「観光情報の充実」(32.0%)、2位「魅力ある観光施設の増設」(31.8%)の2つが他の項目より少し高くなっており、以下「移動交通の改善」(21.3%)、「ガイドブック等整備」(20.5%)、「案内表示の整備」(20.2%)、「宿泊施設の充実」(12.8%)、「観光ガイド支援」(5.8%)。

【性別】 男女で微妙に順位が異なっている。男性1位「観光情報の充実」は女性の2位、女性1位は「魅力ある観光施設」で1・2位が入れ替わる。3位は男性「案内表示の整備」、女性「移動交通の改善」、4位はともに「ガイドブック等整備」である。

20代以下・30代の1位は「魅力ある観光施設」、40代~60代以上の1位は「観光情報の充実」、2位は「魅力ある観光施設」で、1・2位が入れ替わる。3位を見ると、20代以下・40代は「ガイドブック等整備」、30代・50代は「移動交通の改善」、60代以上は「案内表示の整備」。

【性年代別】 全体の1位「観光情報の充実」・2位「魅力ある観光施設」は、各性年代で1位か2位を占める。全体3位の「移動交通の改善」は男性50代では2位(「魅力ある観光施設」と同率)で、女性30代・50代・60代以上で高い。また、高齢層では「ガイドブック等整備」や「案内表示の整備」が比較的高い。

【居住地別】 大阪・豊中・吹田3市の1位は「魅力ある観光施設」、神戸市・京都市の1位は「観光情報の充実」。この2項目が4都市の1位か2位を占めるなか、吹田市の2位は「移動交通の改善」であった。

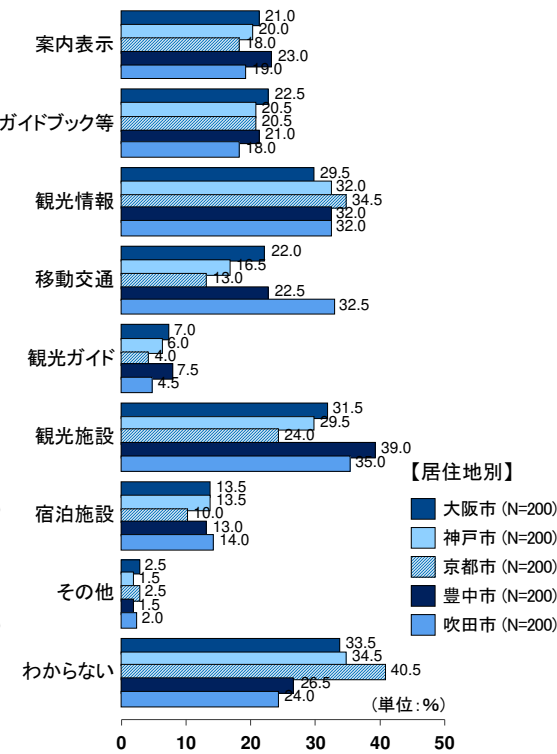
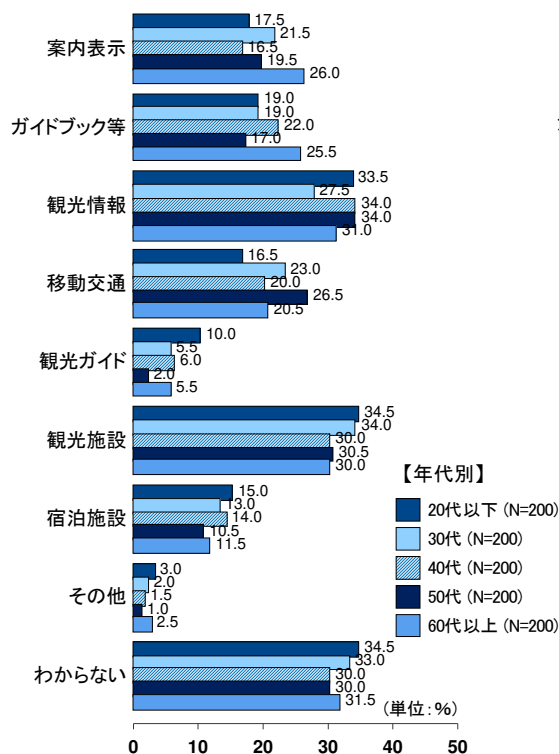
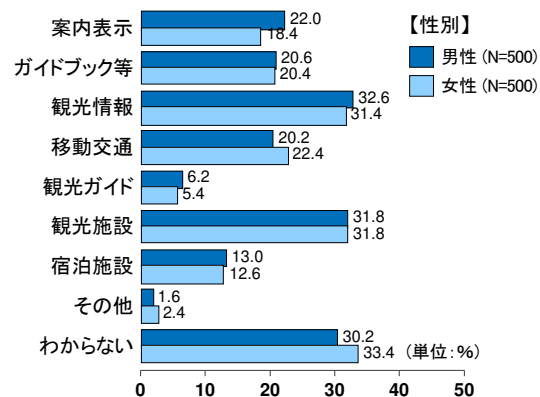
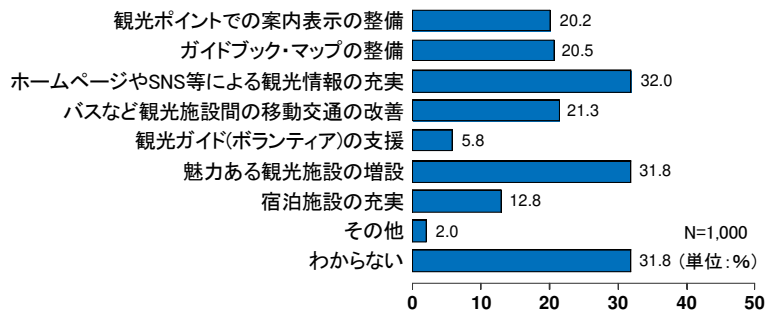


図 6-1 観光地として必要な取組み(3MA) 〈問 15〉



問 16 箕面市でやってみたい観光体験は次のうちどれですか。次のうちいくつかでも選んでください。

やってみたいのは「野外スポーツ」「ウェルネスツーリズム」

【全 体】 1 位「野外スポーツ」(32.9%)、2 位「ウェルネスツーリズム」(32.2%) がほぼ同率で、以下「食文化体験」(24.0%)、「歴史文化ツーリズム」(23.2%)、「芸術文化体験」(13.7%) の順であった。「やってみたい観光体験はない」は 3 割近くあった。

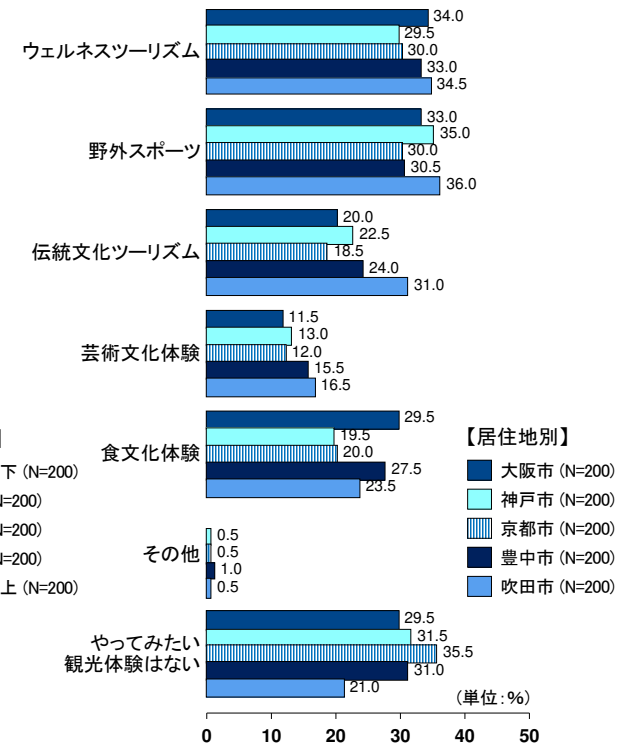
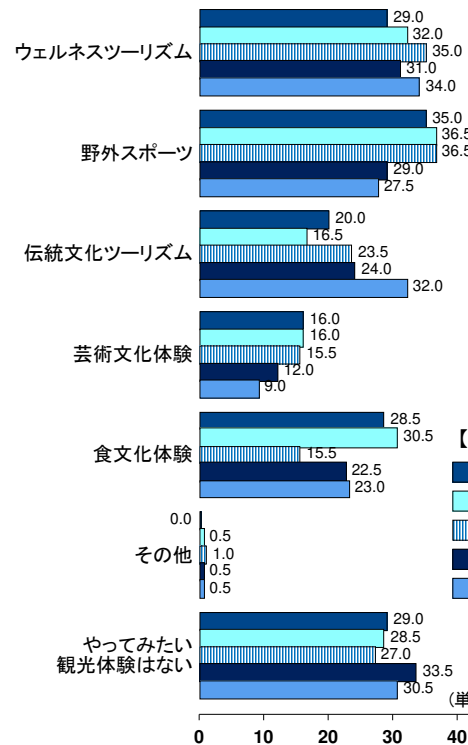
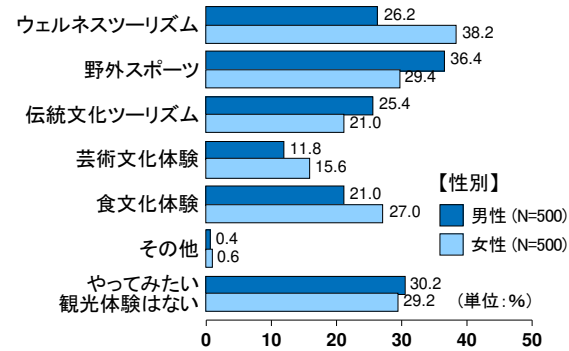
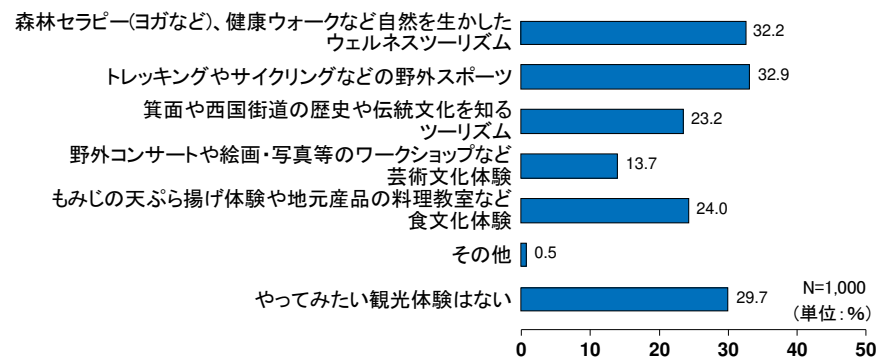
【性 別】 男女で順位がかなり異なっている。男性 1 位は「野外スポーツ」、2 位は「ウェルネスツーリズム」、一方、女性 1 位は「ウェルネスツーリズム」、2 位は「野外スポーツ」で、男女で 1・2 位が入れ替わる。男性 1 位「野外スポーツ」は女性よりかなり高く、女性 1 位「ウェルネスツーリズム」は男性よりかなり高い。3 位は男性「歴史文化ツーリズム」、女性「食文化体験」であるが、それぞれ異性より高い割合になっている。

【年代別】 「ウェルネスツーリズム」や「歴史文化ツーリズム」は年代が上がるにつれて高くなり、「野外スポーツ」や「芸術文化体験」は逆に低くなる。「食文化体験」は 20 代以下・30 代で高い割合を示している。

【性年代別】 男性の各性年代のすべてと女性 20 代以下の 1 位は「野外スポーツ」、男性の 40 代以上 3 年代の 2 位は「歴史文化ツーリズム」。女性の 40 代以上 3 年代の 1 位は「ウェルネスツーリズム」、男性 50 代と女性 20 代以下・30 代の 2 位は「食文化体験」といった特徴がある。

【居住地別】 1・2 位は 5 都市とも「野外スポーツ」と「ウェルネスツーリズム」のいずれかであるが、3 位は神戸市・吹田市は「歴史文化ツーリズム」、大阪市・京都市・豊中市は「食文化体験」であった。

図 6-2 観光体験意向(MA) <問 16>



7. 休日観光の行き先（自由記述）

問 17 休日の近隣地域への観光やレジャーでは、箕面市以外にどんなところへ出かけることが多いですか。具体的な場所を2つまで（1つは必須）お答えください。
（例：池田市の五月山公園など）

有効回答数は810人・計1,016件であった（「特になし」「わからない」等を除く、3件以上回答しているものを含む）。そのうち数の多いもの（10件以上）を以下にあげた。

【近接都市とその周辺】

- ・服部緑地（豊中市）53
- ・万博記念公園（吹田市）98
- ・五月山公園（池田市）39
- ・千里中央（豊中市）17
- ・エキスポシティ（吹田市）48
- ・大阪空港（伊丹市）20 など

【3大都市とその周辺】

- ・梅田（ルクアなど）（大阪市）42
- ・大阪城公園（大阪市）19
- ・六甲山（神戸市）22
- ・須磨（須磨水族園など）（神戸市）15
- ・有馬温泉（神戸市）11
- ・嵐山（京都市）21
- ・琵琶湖（大津市）17 など
- ・U S J（大阪市）18
- ・鶴見緑地（大阪市）17
- ・三宮、元町（神戸市）17
- ・ハーバーランド（神戸市）12
- ・淡路島（淡路市）28
- ・梅小路公園、京都市水族館（京都市）12

8. 観光地、行楽地としての箕面市についての印象（自由記述）

問 18 観光地、行楽地としての箕面市の印象について、思われたことを自由にお書きください。

全体で567件の有効回答があった（「特になし」「わからない」等を除く）。そのうち主なものを以下にあげた（要約した意見もある）。

【都市の印象、イメージ】

- ・自然が豊か、緑が豊か（大阪市・男性・50代ほか）
- ・森林浴にはもってこいの場所（吹田市・男性・60代以上ほか）
- ・自然豊かなまま残ってほしい（大阪市・女性・60代以上）
- ・小ざれに保っていただければ今の古めかしさが良いポイントになる街（豊中市・女性・40代）
- ・北摂ならではの上品な感じが好き。緑も多く癒される（大阪市・女性・30代）
- ・自然豊かで散歩にはちょうどいいし、おしゃれなお店が多い（豊中市・女性・30代）
- ・滝がきれいで夏でも涼しかった。ビールが美味しかった（京都市・女性・60代以上）
- ……
- ・箕面の滝以外に何かあるのかわからない（京都市・女性・60代以上）
- ・行楽地のイメージは皆無。また無理に行楽地として何かする必要もない（京都市・男性・50代）
- ・住宅地や商業施設のイメージが強く、観光地のイメージは薄かった（神戸市・男性・40代）
- ・現地に行ってみると観光地として洗練されていない印象を受けてしまう（大阪市・女性・60代以上）
- ・観光スポットは滝しかない。名産はもみじの天ぷらしかなく、いろいろな店はあるが、特に買いたいと思うような品はない（豊中市・男性・30代）
- ・猿が出没していたころは苦手でしたが、姿を見なくなってからは安心して行ける身近な自然公園になりました（大阪市・女性・50代）
- ・緑豊かで落ち着く場所だが、一度行ったら満足し、何度も行きたいとまで思えない（大阪市・女性・60代以上）

【アクセス、交通】

- ・大阪市から近くて行きやすい（大阪市・男性・60代以上）
- ・大阪から短時間で緑あふれる場所に行ける。ただ遊ぶ施設がない（吹田市・女性・60代以上）
- ……

- ・アクセスをもっと便利に（吹田市・男性・50代）
- ・交通の便があまり良くない、公共交通機関が弱い（豊中市・女性・50代ほか）
- ・勝尾寺や滝など見どころが多いので、周遊バスとかあると行きやすい（吹田市・女性60代以上）
- ・車を所有していない世帯には少し不便な印象（大阪市・男性・30代）
- ・駅から滝までの散歩道は楽しいですが、それ以外のルートはあまり整備されていない。五月山に抜ける道も整備してほしい（吹田市・男性・60代以上）
- ・場所によっては車やバイクでしか行けないところや電車やバスを乗り継がないといけないところが不便（豊中市・女性・30代）
- ・電車では不便、かと言って車でも道の狭さや駐車場の確保に問題がある（豊中市・男性・50代）
- ・観光名所はあるが広域で分散している。車がないと厳しい（吹田市・男性・40代ほか）

【要望・提言など】

- ・もう少し魅力をアピールしてほしい（吹田市・女性・20代以下）
- ・観光地や行楽地のイメージがないので、まずその情報発信をしてほしい（神戸市・女性・50代）
- ・SNSの発信などあまり感じられず、地元民が行くレジャースポットの印象（豊中市・女性・20代以下）
- ・自然豊かで観光地として魅力があり公園以外の名所ももっとPRしていけばいい（神戸市・女性・40代）
- ・観光施設とお土産ショップがもっと集中して存在してほしい（吹田市・男性・50代）
- ・美味しい食事ができるお店やお土産に本格的な味のお菓子屋さんがあったら行きたい（京都市・女性・50代）
- ・いろいろなことをしていると思った。食について体験できることがあれば参加したい（吹田市・女性・20代以下）
- ・滝道にオシャレなお店ができていた。もう少し駅周辺が便利でオシャレな感じになってほしい（豊中市・女性・60代以上）
- ・特産品などもっとアピールされればいいのに。スーパーで特産品フェアなどあれば行ってみたい（吹田市・女性・60代以上）
- ・ゆったりと自然を満喫できるが、飲食の魅力に乏しい。もっとつくるか、すでにあるのなら発信を強化したらよいのではと思う（神戸市・女性・30代）

WEBアンケート調査まとめ

1. 「自然が豊か」「良質なベッドタウン」など、総じて良い都市イメージを持たれている
2. 訪問経験は「数えきれない」「5回以上」など、リピーターが4割強。「行ったことはない」は約4分の1(2位)
3. 訪問目的は「観光・レジャー」が7割、「買物」が3割弱。時期は「年中通して」が最多
4. 観光・レジャーの選択理由は、「距離や時間」「魅力的な場所がある」が5割近く
5. 観光の交通手段は、半数が「自動車」、4割が「電車」。9割は90分圏内から来訪
6. 箕面での観光・レジャーに約8割が一定程度「満足」。8割弱が5,000円以下の消費額
7. 観光・レジャーの同伴者は「家族」「夫婦・カップル」が7割。6人に1人が宿泊
8. 決め手となった情報は「口コミ」45%、「観光サイト」30%。男性は「観光サイト」、女性は「口コミ」
9. 訪問経験は「箕面国定公園」「勝尾寺」「キューズモール」がトップ3
10. 行きたいところも「箕面国定公園」がトップ。男性は「勝尾寺」、女性は「キューズモール」が2位。「行きたいところはない」は約3割
11. 「もみじの天ぷら」「箕面ビール」は高い知名度。しかし「知っているものはない」約3割
12. 期待する取組としては「ホームページ等による観光情報の充実」、「魅力ある観光施設の増設」、「移動交通の改善」など
13. やってみたい体験は「野外スポーツ」「ウェルネスツーリズム」。男性は「歴史文化」、女性は「食文化体験」も上位
14. 箕面以外に行く近隣観光地は、万博記念公園、服部緑地、エキスポシティ、五月山公園など
15. (観光地としての箕面についての自由記述)
 - 都市の印象・イメージ:「自然が豊か、緑が豊か」等賞賛派とともに、「滝以外に何がある」「行楽地としてのイメージは皆無」「観光地として洗練されていない」など
 - アクセス、交通:「大阪から近くて行きやすい」という意見の一方、「交通の便が良くない」「車がないと不便」「観光名所が広域で分散」といった市内移動についての意見多数
 - 要望・提言:「魅力のアピール」や「箕面公園以外の名所のPR」など積極的な情報発信、また「美味しい食事やお土産の開発」、「オシャレなお店の整備等」についての提言があった